

20 ヨハネ 7 章 1-24

1、「内容観察」この箇所を自分の言葉で表現してみましょう。どんなことが記されてありますか？

・ここに時間の経緯を知ることができる記述があります。(7:2) (6:4)にはどのような祭りが近づいているとありますか？…また、そのようなことから6章から7章の間に流れた時間を調べて見ましょう。(「過ぎ越しの祭り」「仮庵の祭り」と調べてみましょう。)

2、この時、イエスや弟子たちを取り巻いていた空気はどのようなものだったでしょうか？
(6:60、61、66、71) (7:1,5、12-13、19-20)

・あなた自身がイエスさまや弟子たちの立場だったら、このような空気の中どう感じ、どうふるまっていると想像できますか？

3、この時にイエス以外の人々(世間一般、親兄弟、弟子たち)の抱いていたメシヤ観とはどのようなものだったでしょうか。(3-4)

・イエス様の見るメシヤ観とはどのようなものだったと考えられますか？(8-9)

・イエス様の見る「メシヤとして現わす時」とはいつのことなのでしょう？
(マルコ 14:41、ヨハネ 12:23、24)

※時が近づくにつれ、いろいろな意味で「孤立していくイエス様」のことを考えてみましょう。

4、イエス様の教え、またクリスチャンの持つ教えとはどのようなものと言われていますか？(14-18)

5、今日の箇所、どんな模範がある？またどんな注意、戒めがある？

6、ここで神様はどのようなお方だと分かりますか？〈父、子、聖霊〉
御子イエス様はどのようなお方だと分かりますか？

7、ここで今日の箇所から、神様が自分に語り、示されている事柄を考えましょう。